

報道関係者各位

令和2年2月20日
福祉保健部健康増進課
課長 下川和夫
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499

山梨県の水痘流行状況について（水痘注意報レベル）

令和2年第7週（2月10日～2月16日）の感染症発生動向調査の結果は次のとおりです。

水痘（水ぼうそう）の定点あたり報告数

中北保健所峡北支所管内：1.80人^{※1}

中北保健所峡北支所管内は、注意報レベル基準値の1.00を上回りましたので、水痘（水ぼうそう）の注意報レベル^{※2}に入ったと考えられます。流行が拡大する可能性があることから、別紙の予防対策を改めて県民に周知したいので、報道機関の皆様方にも御協力をお願いいたします。

※1【中北保健所峡北支所管内】定点数5医療機関合計報告数9人 9人÷5医療機関=1.80人

【県内全域】定点数24医療機関合計報告数9人 9人÷24医療機関=0.38人

※2 定点1医療機関あたりの報告数が 1.00以上 注意報レベル

定点1医療機関あたりの報告数が 2.00以上 警報レベル

※平成30年第36週（9/3～9/9）から水痘の警報・注意報の基準値の変更あり。

（注意報レベル4.00→1.00、警報レベル7.00→2.00）

【直近の数値】

週	山梨県	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部	甲府市
7週（2/10～2/16）	0.38	-	1.80	-	-	-	-
6週（2/3～2/9）	0.08	-	0.40	-	-	-	-
5週（1/27～2/2）	0.54	-	1.80	-	-	0.60	0.20
4週（1/20～1/26）	0.46	-	1.80	-	-	0.20	0.20
3週（1/13～1/19）	0.25	-	1.00	-	-	0.20	-

※前回の注意報レベル入りは、中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内の令和2年第2週（1月6日～1月12日）でした。

水痘(水ぼうそう)の予防対策

●水痘(水ぼうそう)はどんな病気？

- ✓ 水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。
- ✓ 冬から春に流行しますが、年間を通じて患者が発生します。
- ✓ 飛沫(せき・くしゃみ)・飛沫核を含む空気・接触などで感染します。
- ✓ 潜伏期間は2週間程度(10～21日)です。
- ✓ 患者の多くは 9 歳以下ですが、成人はより重症化しやすいので注意が必要です。

●こんな症状は要注意！

- ✓ 主な症状は、発熱と発疹。子どもの初期症状は発疹です。
 - ✓ 最初は頭皮、次いで体や手足に現れ、全身に広がります。発疹は水ぶくれになり、化膿することもある。
- このような症状が現れたら水痘を疑い、早めに医療機関の受診を！

●水痘にかかると・・・

- ✓ 学校保健安全法では、全ての発疹が痂皮化(かさぶた)するまで、出席停止となります。(保育所でも準じた対応となります。)
- ✓ 学校医やかかりつけ医の判断で、登校可能な場合や出席停止が延長される場合もあります。

●水痘は、感染力が強い！

- ✓ 感染のおそれがないと診断されるまでは、人との接触を出来るだけ避けることが大切です。
- ✓ 外出を控え、家で安静に過ごしましょう。
- ✓ 発疹をひっかいて傷をつけないよう、手を清潔にして爪を短くしましょう。
- ✓ お風呂で体を温めるとかゆみが強くなるので、シャワーがおすすめです。

●予防方法は？

- ✓ 患者との接触を避けることがもっとも重要です。
- ✓ ワクチン接種も予防に有効です。